

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-92449(P2009-92449A)

【公開日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2007-261655(P2007-261655)

【国際特許分類】

G 01 K 7/01 (2006.01)

H 03 B 5/32 (2006.01)

【F I】

G 01 K 7/00 3 9 1 C

H 03 B 5/32 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月22日(2010.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エミッタが接地された第1のトランジスタと、

前記第1のトランジスタのコレクタに一端が接続された第1の抵抗と、

前記第1の抵抗の他端に一端が接続された第2の抵抗と、

前記第1のトランジスタのコレクタにエミッタが接続された第2のトランジスタと、

前記第2のトランジスタのコレクタに一端が接続された第3の抵抗と、

前記第3の抵抗の他端に一端が接続された第4の抵抗と、を備え、

前記第1の抵抗と前記第2の抵抗との接続点が前記第1のトランジスタのベースに接続され、

前記第3の抵抗と前記第4の抵抗との接続点が前記第2のトランジスタのベースに接続され、

前記第2の抵抗の他端が前記第4の抵抗の他端に接続されたことを特徴とする温度センサ回路。

【請求項2】

前記第2の抵抗の他端に、温度上昇に伴って電圧レベルが上昇する可変電源を接続したことを特徴とする請求項1に記載の温度センサ回路。

【請求項3】

前記第2の抵抗の抵抗値、または前記第4の抵抗の抵抗値が変更可能であることを特徴とする請求項1、または請求項2の何れか一項に記載の温度センサ回路。

【請求項4】

前記第2の抵抗、または前記第4の抵抗を電流源としたことを特徴とする請求項1乃至3の何れか一項に記載の温度センサ回路。

【請求項5】

請求項1乃至4の何れか一項に記載の温度センサ回路と、該温度センサ回路の温度検出結果に基づいて温度補償電圧を発生する温度補償電圧発生回路と、を備えたことを特徴とする温度補償型圧電発振器。